

# 2026年2月 定例観察会 実施報告書

2026年2月18日

1. 実施日 2026年2月14日（土）
2. テーマ 「冬の楽しみ方を見つける」
3. コース 新三田駅～武庫川堤防～大池川沿い～有馬富士公園
4. 集合 JR 新三田駅 10:00  
解散 有馬富士公園 管理棟前 15:00
5. 参加者 ビジター31名 会員25名（内2班22名）
6. 概要

当日の天候は晴れ。週初めの寒さから一転して、暖かくいい観察日和となった。

5つのグループに分かれて武庫川で鳥などを観察後、JRのガード下をくぐって大池川沿いののどかな田園地域、緩やかな林道を歩いて有馬富士公園に入り、水辺の生態園付近で昼食。

午後は水辺の生態園の周りを観察した後、野鳥観察シェルターから花の道を通って管理棟付近で一旦解散。自主見学等する参加者以外は、会員とともに車道沿いを新三田駅まで下った。



出発時から気持ちのいい晴天

## 7. 主な観察内容

最初の観察ポイントの武庫川ではカイツブリが潜ったり浮き上がったり。カワウの頭部が白くなっているのはこの時期に見られる婚姻色。

堤防のソメイヨシノ並木は、4,000本が植えられている武庫川桜づつみ回廊の一部。冬芽は毛が生えた芽鱗で乾燥などから守られている。

堤防植込みにはマーブル模様のコガタスズメバチの巣。冬は巣にハチはおらず、参加者は興味津々に近寄って眺めたり触ってみたい。



コガタスズメバチの巣

JRのガード下をくぐると田んぼが広がり、その端にはホトケノザやオオイヌノフグリ、オランダフウロなどが花を咲かせている。ホトケノザは開放花のほか、咲かずに自家受粉してタネをつける閉鎖花も多くついていて、二刀流で子孫を残す作戦。

途中に御旅所があり、地元の人によると秋祭りには少し南にある福島稲荷神社から神輿とだんじりが出て練り歩き、ここに立寄るとのこと。

大池川沿いにはまだ実を多く付けたジュズダマが何本も残る。手触りが良くなつては数珠に使われたが今はムクロジなどが使われている。

冬でも葉を落とさないヤマコウバシが何本もある。合格祈願のしおりに使われている。

つやのある赤色の枝と冬芽は三大美芽の一つのネジキ（他はコクサギ、ザイフリボク）。



福島稲荷神社の御旅所



ハンノキの雄花序と雌花

さらに進むと湿地が現れ、ハンノキが増えてくる。垂れ下がった赤っぽい雄花序と雌花はまだつぼみの状態。根の根粒内の放線菌から窒素をもらうので、栄養の少ない湿地でも成長が速い。

ここから有馬富士公園までは、真珠のネックレスと呼ばれる葉痕のあるタラノキ、赤い実が目立つヤブコウジ、つぼみを付けたアセビやヒサカキなどが観察できる。

公園手前には熊出没注意の看板。昨年秋にこのあたりで目撃されたらしい。

公園に着くと有馬富士と福島大池の雄大な景色。ただ、設備修理のために池水が抜かれていて、残念ながら水鳥の姿はなかった。

池の周りにはハンノキ、マルバヤナギ（別名アカメヤナギ）が多く、サクラバハンノキの赤い冬芽も見られる。

その他、おむすび形冬芽のイヌエンジュ、裸芽で毛が密生しているヤマハゼ、大きな落枝痕の横にちょこんと冬芽があるウワミズザクラや、冬芽とサヤが両方楽しめるノダフジ、ソヨゴの赤い実など、この時期ならではの冬芽や実が観察できる。



有馬富士と福島大池

水辺の生態園ではヒメガマの穂が目立つ。その向こうにはトチノキの太い枝ぶり。先端には大きな冬芽が光り、そっと触ると、ねとっとする感触を楽しめる。

他にも、今秋大きく実るであろうマテバシイのドングリの赤ちゃん、幽霊を連想させるシダレヤナギ、淡緑色の花芽を付けたミツマタのほか、葉柄が平べったく風に揺れやすいヤマナラシの落ち葉、ひつじの顔にしか見えないオニグルミの葉痕など、この水辺の周りでは個性豊かな植物がたくさん楽しめる。



トチノキの冬芽

水辺の生態園を出て坂道を進んで行くと、赤い実のモチノキ、石垣を覆うオオイタビ、勢いを感じるガマズミの対生の冬芽、幹に横に2つ並んだトゲが目を引きハリエンジュや、まさに名前通りに太く強そうな冬芽のタカノツメ、マリリンモンローの爪に喩えられるイヌザクラのツヤのある紅紫色の冬芽などが、次々と目を楽しませてくれる。

野鳥観察シェルターでは野鳥こそ少なかったものの、木製の手すりにはこれもモンローリップと呼ばれる地衣類のコアカミゴケがびっしり。カナクギノキの宇宙人の顔のようなユニークな葉芽と花芽の並びも面白い。



水辺の生態園

花の道への登り階段では、白っぽい幹のイヌザクラの大木が目を引き。

花の道では、ナツツバキのまだら模様の滑らかな幹肌、小さな三角形の冬芽が枝にピタリと密着するエノキ、ヤマモモに似た実を付けるイチゴノキを楽しんで、管理棟前で解散。

天気にも植物たちにも恵まれて、冬の自然を楽しめた一日となった。



イヌザクラの冬芽

#### <参加者の主な感想>

○普段何気なく見ている木の冬芽をじっくり見られて楽しかった。○葉と花の両方が入った混芽があることを初めて知って驚いた。○冬芽や葉痕の形や見え方が面白かった。家の周りにある冬芽も見てみたい。○木の名前をたくさん覚えられてよかった。また参加したい。○植物の生き残るための知恵・工夫を知ることが出来て勉強になった。